

リレーメッセージ



母は現在86歳です。

6人兄弟の末っ子で兄姉は他界し今は母1人が健在です。

49歳～59歳まで10年間祖母の介護をしながら家庭のこともして自分の時間も中々取れず祖母の死後、少し自由な時間ができたと思った矢先に仲良しだった父が病気になり、1年間入退院を繰り返し看護を行っていましたが最愛の父とも長い別れとなってしまいました。

それから1人の生活となり、寂しさを紛わせながらお友達と88か所巡りをしたり、私たち娘家族と旅行に行ったり野球好きの孫、ひ孫を広島球場にカープの応援に行ったりと今まで自由に使えなかった時間を満喫していました。また健康のことも考え毎日20～30分散歩したり食事に気を付け生活を送っていました。

そんな母を見て私達も安心して過ごすことができていましたが4年前圧迫骨折をしてしまい3ヶ月入院しそこから足が弱くなり週3回のデイサービスを利用させてもらいながら2年半私達姉妹が朝昼晩と交代で身の回りのお世話をしていましたがベッドから落ちてしまい尾てい骨を骨折し2回目の入院となりました。さらに入院中コロナウイルスに罹患したことで食事をとることができなくなり、一時は看取りになるともいわれとても心配しました。

その後、病院の方のおかげで食事をとれるようになったのですが、1人では歩行が困難になり姉妹で話し合い、色々な葛藤の末ケアマネジャーさんとも相談しふぁみりいさんにお世話になることを決めました。

はじめは環境の変化に戸惑うこともあったようですがスタッフの皆様の優しい声掛けのお陰でリハビリも嫌がらず頑張り認知症も1人での生活の時よりも良くなっているなと感じています。

ふぁみりいさんでの母の様子を見ると心身共に穏やかに過ごせているのが分かり私達も不安なく母を預けることができ、ふぁみりいのスタッフの皆様には感謝しています。

これからもよろしくお願ひいたします。

野村 登美子 様
次女 山平 真紀 様



入所担当看護師の村上幸子です。

私事ですが、昨年還暦を迎えました。この節目の年にいくつかの同窓会に参加いたしました。初めは、互いの外見の変化に戸惑い、名前の確認から始まるような場面もありました(笑)言葉を交わすうちに当時の面影や思い出がよみがえり、会が終わる頃にはすっかり若かりし頃の気持ちに戻っておりました。特に看護学校の同窓会は出席率が高く、一人ひとりがこれまでの歩みを発表する時間がありました。結婚、育児、介護、仕事、そして病……。皆、それぞれに迷いや苦しみ、悲しみを抱えながらも、その中に確かな喜びや幸せをみつけて歩んできたのだと、胸が熱くなりました。

翻って、施設で過ごされている利用者様の人生に思いを馳せます。私たちが経験したことのないような激動の時代を生き抜き、想像を絶する困難を乗り越えてこられた皆様の人生は、何物にも代えがたい尊いものです。お一人おひとりの歩みに触れるたび、深い尊敬の念を抱かずにはいられません。皆様の長い人生から見れば、ほんの一瞬かもしれないかもしれません。しかし、縁あって出会えたからには『あなたに出会えて良かった。』とだけ思っていただけでありたいと願っています。

老体に鞭打つ日々ではありますが(笑)皆様の人生に寄り添える感謝を忘れず、敬意を胸に仕事に励んでまいります。



こころの小箱



私は入所で働いている芝内雅邦という者です。28歳の頃ふぁみりいに入職し、今年で20年目になり気が付けばあつという間におじさんと呼ばれる年齢になっていました。

家族は母と妻、高校生の長男、小学3年生の次男、ペットの亀と暮らしております。亀は次男が1年生の頃「ペットが飼いたい」という願いを聞き、散歩などがなくお世話がしやすい、あまり大きくならないなどの親の都合により我が家にお迎えしました。

私は子供の頃に亀を飼ったことがありましたが、大きくなりすぎて飼うのが難しくなり泣く泣く手放した記憶があります。

その子供の頃の事を思い出し、ある程度ネットなどで情報収集をした結果、ミシシッピニオイガメという種類の亀は大きくならないと知りました。(大体10cm前後まで成長します。)

カメはとても良く餌を食べ、とてもよく糞をします。

カメは水中で暮らすので水が汚れるとあまりよくないのです。

なので、こまめに5日に1度は水替えをしています。

後、亀はとても長生きします。30年くらいは生きるらしいので、最終的には次男に引き継いで欲しいと思っています。

これから少しずつ、教えながら子供と亀の成長を見守っていけたらいいなと思います。



ご紹介いたします。

新しい職員を

おめでとう



今年の4月1日で入職して1年になります、言語聴覚士の小田由佳です。アウトドアが好きで休みの日には家族でキャンプやスノーボードによく出かけています。ご利用者様の話をゆっくり伺いながら、少しでも生活のお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願いいたします！

2025年11月1日に入職しました作業療法士の井上麻友です。三原市出身です。最近息子の入学準備を機に洋裁を始めました。不器用でまだまだ下手ですが、次は何を作ろうかとワクワクしています。仕事でも新しい事にも臆せず挑戦していきたく思います。ご利用者の皆様の生活に寄り添ったりハビリが提供できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



亀山俊幸です。2025年5月16日に入職しました。亀のように地道にコツコツと働いていきたいと思っています。「カメさん。」「カメ。」と利用者様に呼んでいただけるように頑張ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

<編集後記>

ちょうど1年前の ゆっくらみなひゃあ でも書いていましたが、今年も立春を過ぎてから大寒波襲来！感染症対策として施設内の換気を定期的に行っていますが、本当に寒いです。皆様にはご理解とご協力をいただき、感謝しております。

(中山麻紀)



<ゆっくらみなひゃあ 第88号>

題字：三上ヒサコ 様

昔は年賀状を筆で書きようた。久しぶりに筆で字を書いたけえ難しかった！



発行：令和8年3月

発行者：〒720-2104 ホームページは

福山市神辺町道上 2977-1

(TEL)084-960-0300

(FAX)084-960-0301

コチラから→

